

# 知っておきたい定期接種情報

予防接種名 予防できる感染症	望ましい接種年齢	接種回数	接種間隔	
B型肝炎 B型肝炎	【初回】生後2カ月から	2回	27日以上の間隔をおいて接種	
	【追加】【初回】1回目接種後139日以上を経過した後で接種	1回		
ヒブ ヒブ感染症 (細菌性髄膜炎、咽頭蓋炎)	【初回】生後2カ月～7カ月未満	3回	27日(医師が必要と認めた場合は20日)から56日までの間隔をおいて接種	
	【追加】【初回】3回目接種後7月から13月までの間隔をおく	1回		
小児用肺炎球菌 小児の肺炎球菌感染症 (細菌性髄膜炎、敗血症、肺炎等)	【初回】生後2カ月～7カ月未満	3回	27日以上の間隔をおいて接種	
	【追加】【初回】3回目接種後60日以上の間隔をおいて、かつ12月から15月までの間	1回		
四種混合【DPT-IPV】 ジフテリア、百日咳、破傷風、ポリオ	【初回】生後3カ月から	3回	20日から56日までの間隔をおいて接種	
	【追加】【初回】の3回目接種後12月に達した時から18月に達するまでの期間	1回		
BCG 結核	生後5カ月～8カ月の間に接種	1回		
麻しん・風しん【MR】 麻しん・風しん	1期 1歳以上2歳未満で接種	1回		
	2期 5歳以上7歳未満で接種	1回	対象者に対し、個別通知	
水痘 水痘(みずぼうそう)	1歳以上3歳未満で接種	2回	1回目から2回目までは6月～12月の間隔をおいて接種	
日本脳炎 日本脳炎	1期	【初回】満3歳～4歳に達するまで注(生後6カ月から接種可能)	2回	6日から28日までの間隔で接種
		【追加】【初回】の2回目接種後おおむね1年後	1回	
	2期	9歳以上13歳未満で接種	1回	対象者に対し、個別通知
ヒトパピローマウイルス【HPV】 子宮頸がん	サーバリックス(2価)	小学6年生から高校1年生相当の女子	3回	1月以上の間隔をおいて、2回接種した後、1回目の接種から5月以上かつ2回目の接種から2月半以上
	ガーダシル(4価)		3回	1月以上の間隔をおいて、2回接種した後、2回目の接種から3月以上
二種混合【DT】 ジフテリア・破傷風	11歳以上13歳未満で接種	1回	対象者に対し、個別通知	

町内委託医療機関	実施日・受付時間・受付方法
多古中央病院 ☎76-2211	【月・火・木・金曜日】午後1時30分～2時(2日前までの午後2時～5時に電話予約)
大木内科医院 ☎76-2904	【月・火・水・金・土曜日】午前8時～正午、午後2時～5時
さとうメディカルオフィス ☎76-2039	【月～金曜日】午前8時30分～午後0時30分、午後3時～6時 【土曜日】午前8時30分～午後1時(母子手帳持参で窓口予約)
石橋内科医院 ☎76-2767	【月・水・木・金曜日】午後2時30分～5時30分 【火曜日】午後4時～6時 【土曜日】午後2時30分～4時(母子手帳持参で窓口予約)

お問合せ ● 保健福祉課健康づくり係 ☎ 76-3185

## おたふくかぜ・ロタウイルス 予防接種費用を全額助成します

接種費用  
ゼロ  
“0”

予防接種には、法律に基づいて実施する「定期接種」と希望者が各自で受ける「任意接種」があります。おたふくかぜ・ロタウイルスの予防接種は「任意接種」で費用は自己負担でしたが、4月1日以降に接種される費用については町が全額助成します。病気の流行を抑えるためには、予防接種を受けることが重要です。

### おたふくかぜ

ムンプスウイルスによる全身感染症で、耳の下が腫れることが多く、年長児や成人では合併症を引き起こす場合があります。

【接種対象者】 1歳～年長児(2回接種)

- 町内委託医療機関に限ります。
- 1回目の接種は1歳のお誕生日を迎えてからです。
- 5歳頃を目安に2回目の接種をしてください。
- 年長児は当該年度の3月31日までに終了してください。
- 今までに『おたふくかぜ』にかかった人は対象外です。

### ロタウイルス

ロタウイルスによる胃腸炎は衛生状態にかかわらず発症し、脱水症状を引き起こし、重篤化する場合があります。

【接種対象者】 生後6週～32週

- 町内委託医療機関に限ります。
- 1回目の接種は14週6日までに受けることを推奨しています。



### 二種混合から三種混合に変更できます

11歳から13歳までに接種する二種混合ワクチンを三種混合ワクチンに無料で変更することができます。これは、三種混合に含まれる『百日咳』を予防する効果があるからです。任意での接種になりますので、接種時に医師に相談ください。

### 二種混合ワクチン(ジフテリア・破傷風) → 三種混合ワクチン(ジフテリア・破傷風・百日咳)

**ジフテリアとは**…ジフテリア菌によって、微熱・咽頭痛・頭痛・倦怠感などの症状がでます。重症化すると呼吸困難・心不全などを引き起こす可能性があります。

**破傷風とは**…傷口に入り込んだ破傷風菌が毒素を出すことで、次第に顔の筋肉が引きつって、ひきつり笑いという症状がでます。屋外での皮膚の傷を完全に防ぐことは難しいため、予防接種が必要です。

**百日咳とは**…百日咳菌という特殊な細菌が原因で、咳などの症状が長引くのが特徴です。成人が感染しても重症化しませんが、6カ月未満の乳児が感染すると呼吸器不全など命に関わる可能性があります。

予防接種は医師と相談のうえ、適切に接種しましょう。